

民報 ゆうばり

北海道の未来は道民がひらく！

石川知事予定候補・北海道独立構想を語る！



集会に100名を超える参加者

3月6日(水)午後3時から、「北海道の未来は道民がひらく！岩見沢集会」が「市民と野党の共闘をすすめる10区の会」の呼びかけで開催されました。

主催者を代表してオープニングでは、「市民と野党の共闘をすすめる10区の会」(略称：すすめる会)代木のラックアウトの経験

分には、夕張をはじめ、南空知の市町村を訪問して、首長さんへ挨拶をしてきました。国言いなりの北海道ではなく、デンマークに匹敵する規模の北海道を自治の憲法とと

立って聞き入る参加者もありました。立憲民主党を代表して千葉清美栗山町議、日本共産党を代表して吉岡文子美唄市議が挨拶しました。市民の風共同代表のひとり、川原茂雄さん(札幌学院大学)が、野党統一候補が実現した経緯を、軽妙な話術とユーモアで紹介。「市民の風の私たちは、市民と野党共闘の火付け役、チャッカマンです」

地方自治を根づかせる 石川さんを知事に！

村衛さから、原発に頼らなと述べ、会場には笑

んが挨い分散型電力確保シいの渦が起こりました。

抄をしシステムを再生可能エ

ました。ネルーを

野党用する形で、

統一石実現した

川知裕い」と訴え

知事予ました。

定候補会場には、

が会場札幌からの

に駆け参加者もあ

つけ、り、100

約20名を超え、



さらに、市民の風から、市民の風と

共同代表上田文雄さして、全道各地で、

ん(弁護士)が、沖市民の風を起こして

縄につぐ、官邸と野いきます」と参加者

党統一候補が激突すへ決意を述べました。

る、全国が注目する参加者からも感想

知事選の意義についが述べられました。

て話をしました。夕張市議のくまが

「地方自治という桂子さんが、鈴木

考えは、今の憲法で前々張市長や、市長

初めて認められた重選の様子を報告し

要な法律です。憲法「地方自治をしっか

を守らない安倍暴走り守る石川さんに期

政権を退陣へ追い込待する」と述べまし

み、立憲主義・民主た。

主義を取り戻すため約1時間半の集会

に、南の沖繩と北のは、暑い熱気に包ま

北海道から官邸を包れた状態で終了しま

囲みましょう。これ

共産党道議 空知選挙区候補 重山まさよ(前栗山町議)に決定

野党統一知事を支える
日本共産党の道議を
空知から必ず
道議会へおくらう！



国際女性デー夕張集会開催

3月9日清水沢 識・風土がある中、研修センターで、国民党政権は長年にわたって、女性の平等や働き方に反対してきた。国連から『女性差別』について何

度も勧告を受けている。自由や平和、安全や安心という社会の成就には、女性の進出が欠かせない。少なくとも男女同数になるよう女性議員の進出が必要である。女性議員をふやしましょう！」

また、来賓の夕張労働議長の筒井勇治さんは「市民と野党の共闘の推薦知事候補が決まりました。政策を一人ひとりが判断して北海道の未来を託す人を選びましょう」と訴えま

し。集会の第一部は「女性と憲法のはなし」と題して市議の熊谷桂子さんが次のようにのべました。「日本の女性の地位は世界で110位である。なぜそんなに低いのか。夫は外で妻は家庭を守るという意



くずさんの 夕張歴史散歩 (107)

明治維新 23 / 朝鮮植民地支配 ⑦

これまで表題を「朝鮮干渉」としましたが、もはや朝鮮植民地支配が正確でしょう。

日清戦争は何だったのか

近代装備に勝る日本軍は、平壤大会戦で清国陸軍を破り、翌九月十七日、黄海海戦で北洋艦隊の主力を撃破します。本来ならばこの時点で、「清国軍を朝鮮から追い出して欲しい」という「朝鮮国王の要請」は果たされた筈でした。しかし、戦争は終わりませんでした。朝鮮国内ではじまった戦いは、初めから朝鮮の植民地支配をめぐって、清国との戦いでした。

遂に鴨緑江を越える

十月に鴨緑江を渡り清国に侵入した日本軍は、十一月二十一日には遼東半島の旅順を占領、翌一八九五年(明治28年)二月には、山東半島の威海衛を占領して、清国北洋艦隊を降伏させ、日本軍約一三、五〇〇人(内病死8%)の犠牲者を

身の毛もよだち、目を被う残虐さ

この間、旅順占領における虐殺事件(一八九四年十一月)は、国際的な大問題になりました。東京日日新聞は「路上の死屍 旅順各街至る処に死屍横はる間々身首異にせしものあり、半ば首の切れたるあり、脳味噌の浸出せしものあり、腸の露出せしものあり、眼球の飛出せしものあり、其の他手切れ足砕け粘々たる血液の上に斃死せず様実に見毛髪悚立(しよりりつ)するを覚ゆ」と、その惨状を報じています。

外国特派員の報道記事によると「この際に殺戮を免れたる清人は、全市内わずかに三十有六人に過ぎず」と、あります。

*「日本の戦争はなんだったか」参照



畠山 和也「かけある記」
前衆議院議員

今こそ底力を

釧路市での演説会を終えて札幌に向かう特急の車中、旧音別町あたりの湿地帯でコンモリとしたものが目に入りました。ヤチボウズと思われれます。スゲ類の根茎が密集して上へ上へと成長する、釧路管内にとつては春を迎えるうえでの風物詩。自然の春とともに、政治の春も早く呼び込みたいと思いました。

統一地方選の告示が、いよいよ迫ってきました。日本共産党にとって楽な選挙というのはい度たりともありません。そのような厳しさとともに、どこでも「安倍首相はひどい」との思いや、くらしや地方経済での切実な願いもあふれているだけに期待の声も各地で聞きます。ぜひ、ご近所はじめ全道的なお知り合いにもご支援を広げてほしいのです。

昨年の大地震から半年の節目に、厚真町・むかわ町・安平町をまわりました。日本共産党の地方議員は、これほど頼りにされる存在なんだと実感した半年でもありました。道議会では仮設住宅への家電3品設置や、札幌市でも土砂撤去の公費負担へも道を開きました。寄り添ってこそ共産党、切りひらいてこそ共産党。党の大先輩から引き継がれてきた底力を、今こそ発揮する時です。

相変わらず強弁が目立つ安倍首相ですが、文書を改ざんしたり統計をごまかしたりしなければ権力を維持できないということではないでしょうか。ウソや強弁は弱さの裏返し、くらしと地域の声こそ強いものなんです。北海道から、さあ、変えるよ!

